



はやし こうぞう

第15回 1999年度 高柳記念賞

林 宏三 氏

「カラーテレビジョン技術の先導的研究開発」

林 宏三氏は、カラーテレビジョンの研究開発に一貫して携わり、カラーカメラの開発、小型衛星による宇宙中継などの先導的な研究開発を行った。さらに、ハイビジョンの研究開発を基礎的な段階から実施、CCIRに研究課題として提案、世界的に各国の研究を刺激し、今日のハイビジョン放送の実現に多大な貢献をした。以下に、同氏の独創的な成果を要約する。

- 1 カラーテレビジョン放送の初期の受信画像は、色再現、解像度、ノイズなどの点で不満足が多かった。これらを改善するため、色チャンネルと独立な撮像管から白黒テレビ信号に近い特性の輝度信号を発生する、分離輝度方式のカラーカメラの開発を行った。
- 2 フィルム録画は、初期のテレビジョン放送においては各種の利点があり、画質の改善と運用性の改善の研究を行い、カラーテレビジョン放送の普及に寄与した。
- 3 シンコム衛星による東京オリンピックの宇宙中継で放送画質を確保するため、正極同期と非直線エンファシスを用い、微少な波形ひずみの代償として大きなS/N(8dB)の改善を得る方式を開発した。この中継は、世界ではじめての輝かしい宇宙中継の成功であり、その後、衛星による番組映像の国際交換の発展に大きく寄与した。
- 4 ハイビジョンの研究開発においては、責任者として基礎的な研究開発の骨格を作り、現在のハイビジョンの基本的な規格である1125本ワイド方式を決めて研究を推進した。また、CCIRに研究課題としてHDTVを提案し、世界的なHDTV研究の潮流を起こし、ハイビジョン放送実現の基盤を築いた。さらに、退職後メーカーに転じ、ハイビジョン受像機の低廉化・高性能化に取り組み、またハイビジョン普及支援センター開発委員会委員長としてハイビジョンの産業応用にも尽力し、ハイビジョンの普及・促進に大きな貢献を行った。

経歴	大正 15 年 7 月 12 日生まれ
学歴	昭和 25 年 3 月 東京大学 第一工学部 電気工学科卒業
職歴	昭和 25 年 3 月 25 日 日本放送協会 入局 盛岡放送局 技術部
	昭和 28 年 8 月 6 日 技術研究所 テレビジョン研究部
	昭和 37 年 7 月 10 日 技術研究所 主任研究員
	昭和 42 年 8 月 1 日 技術本部 開発部 技師
	昭和 43 年 8 月 1 日 総合技術研究所 主任研究員
	昭和 45 年 7 月 31 日 総合技術研究所 新テレビ方式班 部長
	昭和 54 年 12 月 5 日 放送科学基礎研究所 所長
	昭和 57 年 7 月 11 日 退職(定年)
	昭和 57 年 7 月 シャープ株式会社 入社 技術本部副本部長
	昭和 59 年 12 月 常務取締役 技術本部長
	平成元年 4 月 専務取締役 東京支社長
	平成 5 年 6 月 顧問
	平成 7 年 6 月 退職